

◆甲子園短期大学の教育方針

建学の精神と教育理念

甲子園短期大学は、校訓三綱領「黽勉努力」「和衷協同」「至誠一貫」の建学の精神にもとづき、広い一般教養と専門的知識・技能を授け、健全円満な人格の陶冶を図るとともに専門の職業に従事し、社会の発展に貢献できる人材の養成を教育理念としています。

＜建学の精神・校訓三綱領＞

第一の「**黽勉努力**」とは、教養を深め専門的な知識と技能を兼ね備え自立するために、自らの意思に従って勉め励むことです。

第二の「**和衷協同**」とは、共に学び育ち平和的心情を養い、社会にあっても心を同じくして互いに力を合わせ協調することです。

第三の「**至誠一貫**」とは、高い倫理観と幅広い人間性を培い、困難に際しても真心をもって一筋に信念を貫き通すことです。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

甲子園短期大学は、以下のような学生（高校生・社会人）を求めています。

【全学アドミッション・ポリシー】

1. 高等学校で学んだことを継続的・発展的・多面的に捉え、発信していこうとする人。
2. 目的意識をもって、主体的にチャレンジできる人。
3. 教養を深めて、専門的な知識と技能を獲得するために自ら努力しようとする人。
4. 豊かな感性と創造力、コミュニケーション能力を有し、社会の一員として自覚と責任感をもつて行動できる人。
5. 他者と協力しながら共に学び、社会に貢献しようとする意欲のある人。

【生活環境学科アドミッション・ポリシー】

1. 生活を取り巻く環境・健康・福祉に興味関心がある人。
2. 他者の気持ちを理解し、円滑なコミュニケーションと人間関係を築こうとする人。

【幼児教育保育学科アドミッション・ポリシー】

1. 子どもの成長・発育・発達に興味関心がある人。
2. 子どもや他者から信頼され、地域社会と連携できる保育者をめざす人。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

甲子園短期大学では、学位授与の方針に掲げる能力の習得を目的として本学の教育理念に基づき、幅広い一般教養を培う総合教養科目と専門的知識や技能を受け社会の発展に貢献できる人材を養成するための専門科目を体系的に配置し、以下の方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成する。

【生活環境学科ライフキャリアフィールド】

学位授与及び各種資格取得を志す者として、生活環境学科ライフキャリアフィールドが掲げる教育目標とディプロマ・ポリシーを達成するため、「総合教養科目」「専門教育科目」「ライフキャリアフィールド専門教育科目」からなる教育課程を編成する。

「総合教養科目」は、短期大学士として必ず身につけておかなければならない資質の基礎を養う科目群であり、特別演習を中心として社会とくらし、いのちと健康、芸術と表現、情報と国際理解そして園芸の分野で構成され現代社会における人間の心理や生命、環境等幅広い教養を学び、視野

を広げる科目群である。

「専門教育科目」は、自立し地域社会で活躍し、社会に貢献できる人間をめざしてこれから時代を見通して構成された専門的知識と実践力を身につける科目群である。

「ライフキャリアフィールド専門教育科目」は、現代社会の諸問題の解決を目指して、環境やICT（情報通信技術）、生活全般、身体や健康、医療に関する知識、技能、表現能力について講義、演習、実習を組み合わせた授業形態により身につける科目群である。

教育課程全般を通じて、グループ・ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングの教育方法も活用し、学生の理解と実践力、自律力を高め、観察力を養う。また、教育課程の評価については、専門教育に係る科目における学習状況をもって、教育課程全体を通じた学習成果の総括的評価を行う。

【生活環境学科介護福祉フィールド】

学位授与及び介護福祉士を志す者として、生活環境学科介護福祉フィールドが掲げる教育目標とディプロマ・ポリシーを達成するため、「総合教養科目」「専門教育科目」「介護福祉フィールド専門教育科目」からなる教育課程を編成する。

「総合教養科目」は、短期大学士として必ず身につけておかなければならぬ資質の基礎を養う科目群であり、また、人間の生活や生命、それを取り巻く社会や文化・環境といった幅広い教養を学び視野を広げる科目群でもある。

「専門教育科目」は、介護を行う上で必要不可欠な科学的な思考、論理的な思考力、コミュニケーション能力を身につけるとともに、生活力を高め、観察力を養うとともに、介護を行うときの根拠や必要性を考えることができる科目群である。

「介護福祉フィールド専門教育科目」は、介護福祉士養成課程カリキュラムに基づき、介護福祉士として専門的な知識・技能・態度を身につけるために講義、演習、実習といった授業形態により行われる必修科目群である。

教育課程全般を通じて、グループ・ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングの教育方法も活用し、学生の理解と実践力を高める。また、教育課程の評価については、介護福祉士国家試験受験資格に係る科目における学習状況をもって、介護福祉士養成課程全体を通じた学習成果の総括的評価を行う。

【幼児教育保育学科】

学位授与及び幼稚園教諭二種免許状・保育士資格取得を志す者として、幼児教育保育学科が掲げる教育目標とディプロマ・ポリシーを達成するため、「総合教養科目」「専門教育科目」からなる教育課程を編成する。

「総合教養科目」は、短期大学士として必ず身につけておかなければならぬ資質の基礎を養う科目群であり、また、現代の教育保育を支える教養的知識を身につけた教育者・保育者になるための基礎となる科目群でもある。

「専門教育科目」は、幼稚園教諭・保育士としての知識・技能・態度を身につけるため、教育職員免許法・児童福祉法施行規則に基づいた必修科目及び選択必修科目群である。教育・保育に関する基礎理論に関する科目をはじめとして保育指導法などの応用的・実践的な科目、そして教育・保育実習、教職実践演習を履修するというように、適切な順序性をもって開講期を設定する。

教育課程全般を通じて、グループ・ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングの教育方法も活用し、学生の理解と実践力を高める。また、教育課程の評価については、教員免許資格及び保育士資格に係る実践演習科目における学習状況をもって教育課程全体を通じた学習成果の総括的評価を行う。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

甲子園短期大学では、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定され、短期大学士の学位が授与される。

【全学ディプロマ・ポリシー】

(関心・意欲・態度)

1. 自立のために目標を明確にし、自らの意思で努力できる。(黙勉努力)
2. コミュニケーションにより互いに理解し、力を合わせることができる。(和衷協同)
3. 高い倫理観をもち、真心をもって誠実に行動することができる。(至誠一貫)

(知識・理解)

4. 倫理・道徳的な教養と専門的知識を身につけている。

(思考・判断)

5. 時代に対応した専門的知識や技能を実践的場面で活用でき、継続して自ら学び続けることができる。

(技能・表現)

6. 適切な情報を選択し、自ら考え、他者に提示できるとともに、新たな価値を創造し発信することができる。

【生活環境学科ディプロマ・ポリシー】

(知識・理解)

1. 生活を取り巻く環境・健康・福祉に関する知識と技術を身につけ、生活場面及び地域社会で活用できる。

(思考・判断)

2. 人を思いやる心を持って、豊かで安全・快適な生活を創造するため、主体的に行動できる。

(技能・表現)

3. 多様な職種の役割を理解するとともに、円滑なコミュニケーションを図り、他者と連携し協同することができる。

【幼児教育保育学科ディプロマ・ポリシー】

(知識・理解)

1. 幼児教育・保育に関する知識と実践に役立つ技術を身につけ、活用できる。

(思考・判断)

2. 個性と発達の多様性を理解し、保育者として主体的・多面的・客観的に考察し、適切に行動できる。

(技能・表現)

3. 子どもを共感的に理解し、多様な立場を理解するとともに地域と連携し、専門的知識や技能を保育と教育の現場で活用できる。